

# 心からみんなにすすめたい 一冊の本 推進事業

☎ 指導課 ☎ 内線2041

コロナ禍で、人と人が触れあう機会が少なくなっても、心と心が本でつながれますように。そんな願いを込めて児童生徒一人一人が、とっておきの一冊を紹介しました。

この事業は、学校図書館と市立図書館の連携事業を促進し、子どもたちが多様な本と出会う機会を増やすことや、読書意欲の向上を目的としたものです。



## 市立全小・中学校で本の魅力を紹介しました

市立小・中学校の小学1年生から中学2年生までが、各学校で、お気に入りの本の魅力を、おすすめカードに書いて紹介したり、発表し合ったり、発表者が読みたくなった本を代表本として選ぶ「ビブリオバトル」に参加したりしました。

学年代表本に選ばれた本は、発表者自身のおすすめコメントを添えて各校図書室に展示しています。市民の皆さんも市立図書館で読むことができます。



## 中学校「心からビブリオバトル大会」

中学1年生の代表者が動画で心からすすめたい本の魅力を紹介しました。その様子は取手市立図書館ホームページで視聴できます。



取手第一中学校  
寺田夏樹さん

「死を見る僕と、明日死ぬ君の事件録」 古宮九時・著

主人公の「僕」が死の未来を背負う「君」と出会い、運命にあらがうために奔走する物語です。最後に衝撃的な結末が待っています。「僕」とともに本当の自分探しをしてみませんか？



取手第二中学校  
河内蒼空さん

「きみを変える50の名言」 佐久間博・著

「広い空の下、広い海に出てみましょう」という表現が一番心に残りました。「人生つらい」「諦めよう」と迷ったり困ったりしている人に「答え」を導き出してくれる本です。



永山中学校  
霜田向日葵さん  
(サポーター  
広瀬ほのかさん)

「世界は『 』で満ちている」 櫻いいよ・著

この本は人間の醜い面や良い面どちらも見ることができ、人間関係を学び直せる内容です。「毒に犯されているんだよ、みんな」という表現が特に心に残りました。



戸頭中学校  
鈴木若菜さん

「昔話法廷」 今井雅子・著

有名な昔話の主人公が現代の法律で裁かれるという作品です。皆さんが思っていた昔話へのイメージががらりと変わってしまうかもしれません。Eテレビでも放送されました。ぜひ読んでみてください。



藤代中学校  
漆谷くるみさん

「本当の「頭のよさ」ってなんだろう？」 齋藤孝・著

私が思う「頭のいい人」と本当の「頭のいい人」は違っていました。本当の頭の良さは、人生と深く結び付いていたのです。齋藤先生の話にたくさん感銘を受けました。



藤代南中学校  
杉田静香さん

「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」 汐見夏衛・著

戦争と恋の物語です。自分と歳の近い百合が影に恋していく様子に共感できます。また戦争について考えるきっかけにもなる一冊です。ラストは涙がこぼれそうになります。

## 発掘！ ほどよく 絶妙 とりで

vol.42  
昔なつかし昭和の風景⑧  
(四ツ谷橋編)  
☎ 魅力とりで発信課 ☎ 内線1191

写真①明治時代



写真②左：昭和49年、右：平成8年



今回の「発掘！ほどよく絶妙とりで」は、四ツ谷橋の移り変わりについてご紹介します。取手駅の北側で東西市街を結ぶ四ツ谷橋は、駅周辺の交通利便性向上に大きな役割を果たす重要な橋です。

写真①は明治時代の四ツ谷橋、写真②は昭和49年(左)と平成8年(右)の四ツ谷橋です。平成20年まで架けられていた写真②の橋は、明治時代に活躍した鉄道橋の材料をリサイクルして作られ、長きにわたり人々に利用されてきました。しかし、幅員が約5.5メートルと狭く、歩道がないため歩行者にとって危険な道であることや、老朽化が進んだこ

ともあり、平成20年に大きくリニューアル(架け替え)を行いました。

写真③は同年7月に行われた開通式の様子です。この工事によって歩道が整備され、歩行者も車も安心して利用できる橋となりました。今後も駅周辺の開発計画が進んでいくなかで、四ツ谷橋は交通の要所として貢献していくことでしょう。

■平成29年から連載してきた「発掘！ほどよく絶妙とりで」は、今回で終了となります。ご愛読ありがとうございました。



写真③平成20年7月

